

IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

# DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・ デリバリーの変革

スタート



IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

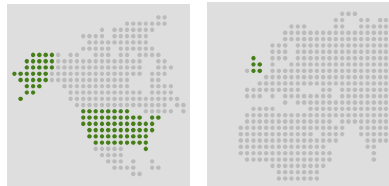
まとめ

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

顧客体験の向上は、顧客志向を重視する組織にとって 最優先事項になっています。顧客を獲得し、顧客に製品やサービスを提供し、関係を維持できるかどうかは、顧客に成果をもたらす質の高い体験を提供できるかどうかにかかっています。その最大の手段となるのはモバイル Web 体験ですが、それを影で支え、顧客とのつながりを生む情報源となっているのはメインフレーム・アプリケーションです。

しかし、メインフレーム・アプリケーションは、満足できるスピードで、安定してを更新することができていません。アプリケーション開発の専門家は、DevOps 手法を採用することが、メインフレーム・アプリケーション開発を改善できる鍵だと考えています。

2015 年 7 月、Forrester Consulting は IBM からの委託を受け、メインフレーム・アプリケーションの強化を目的とした DevOps 手法の導入に関して調査を実施しました。



## 調査対象者について

米国と英国の、アプリケーション・デリバリー担当の意思決定者 (部課長以上の役職者) 100 人

48%

アプリケーション・デリバリー・プロセスに関する最終的な意思決定に影響を及ぼし得る助言を提供している



52%

アプリケーション・デリバリー・プロセスの最高意思決定者である



## 業界 (業種)

- > 行政機関 28%
- > 財務 28%
- > 銀行 44%

IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

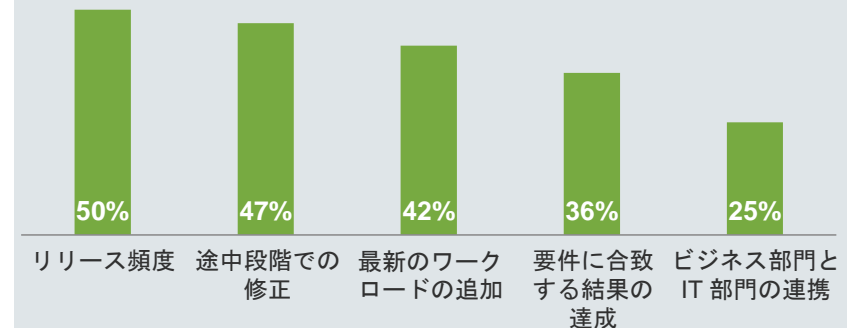
1 2

## 従来のメインフレーム・アプリケーションが卓越した Systems of Engagement の実現の足かせに

顧客を獲得してサービスや商品を提供し、関係を維持するためには、卓越した顧客体験が不可欠です。現在のメインフレーム・アプリケーションは、次のような理由から、優れた顧客体験を提供する足かせになる場合があります。

- リリース頻度。** アンケートに回答した企業の半数が、更新プログラムを迅速にリリースできていません。企業の 59% が、顧客が利用するアプリの新しい変更をリリースするまでに、数週間または数日かかると回答しています。さらに時間がかかる企業もあり、14% は数か月かかると回答しています。
- 途中段階での修正。** 顧客の変更指示は日常茶飯事です。そのような変更に対応することで、より一層顧客のニーズに応えることができます。調査対象企業の約半数 (47%) は、メインフレーム・アプリケーションは変更要望に対して速やかに対応できないと感じています。
- 最新のワークロードの追加。** モバイル Web アプリケーションが機能するにはデータが必要です。メインフレーム・アプリケーションのデータがなければ、最新のアプリはほとんど役に立ちません。調査対象企業の 42% は、最新のワークロードを思うように追加できないと感じています。

貴社の現在のメインフレーム・アプリケーションに関して、次の項目にどの程度満足していますか。



調査対象：米国と英国の、アプリケーション・デリバリーについての意思決定権を持つ責任者

資料：IBM からの委託により Forrester Consulting が実施した調査 (2015 年 9 月)

IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

1 2

## メインフレーム・アプリケーション・デリバリーを停滞させる複数の問題

短いデリバリー・サイクルなら、企業は顧客のフィードバックに合わせて戦略を変更し、発展させることができますが、顧客が利用するアプリケーションの新機能の迅速なリリースや変更を妨げるさまざまな障害があります。ビジネス面では組織のサイロ化、優先順位の競合、意思決定の遅さが最大の課題であり、技術面では、チームのプロセス、アプリケーションの複雑さ、古いツールが最大の課題となっています。

調査対象となった組織の 30% が、メインフレーム・アプリケーション開発の技術的な課題の 1 つとして古いツールを挙げています。

## 現在のメインフレーム・アプリケーション開発におけるビジネス面での課題は何ですか。

組織のサイロ化がボトルネックになっている	36%
適切な優先順位を設定できない	35%
意思決定に時間がかかりすぎる	34%
ビジネス・ニーズに迅速に対応できないことが、顧客の獲得や関係維持の障害になっている	28%
明確なデジタル変革戦略がない	27%

調査対象：米国と英国の、アプリケーション・デリバリーについての意思決定権を持つ責任者 100 人  
資料：IBM からの委託により Forrester Consulting が実施した調査 (2015 年 9 月)

## 現在のメインフレーム・アプリケーション開発における技術面での課題は何ですか。

コンプライアンスおよびセキュリティ・プロセス	45%
断片的なまたは手動のプロセス	38%
メインフレーム/Systems of Engagement をサポートするチームと開発部門のスピードのずれ	31%
System of Record アプリケーションの複雑さ	31%
古いツール	30%

調査対象：米国と英国の、アプリケーション・デリバリーについての意思決定権を持つ責任者 100 人  
資料：IBM からの委託により Forrester Consulting が実施した調査 (2015 年 9 月)

IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

1 2

## DevOps 手法の改善が、メインフレーム・アプリケーション更新の鍵

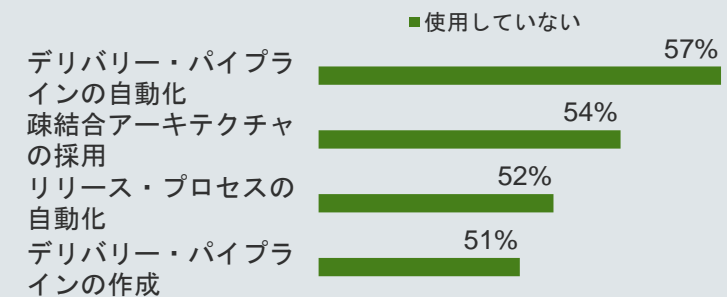
メインフレーム・アプリケーションの迅速なデリバリーの足かせとなっている障害の多くは、DevOps 手法によって解消できますが、ほとんどの企業で DevOps の導入は依然として進んでいません。ほぼ 60% の企業が、現在、デリバリー・パイプラインを自動化していません。デリバリー・パイプラインの作成、リリース・プロセスの自動化、または、疎結合アーキテクチャの採用すらしていない企業は、半数以上にのぼります。

しかし、アプリケーション開発の専門家は DevOps の価値を認めており、近いうちにさまざまな DevOps 手法を利用する計画を立てています。

導入を計画している手法の上位 5 項目は、次のとおりです。

- ▶ デリバリー・パイプラインの自動化 (42%)
- ▶ リリース・プロセスの自動化 (40%)
- ▶ デリバリー・パイプラインの作成 (35%)
- ▶ 疎結合アーキテクチャの採用 (34%)
- ▶ コードとしてのインフラストラクチャの作成 (30%)

貴社では次の DevOps 手法にどの程度対応していますか。



調査対象：米国と英国の、アプリケーション・デリバリーについての意思決定権を持つ責任者

資料：IBM からの委託により Forrester Consulting が実施した調査 (2015 年 9 月)



企業が採用を計画しているその他の DevOps 手法には、継続的なテスト、ビジネスの戦略と実行を推進するためのデリバリーの迅速化、大規模な取り組みの小さな一連の作業への分割、コラボレーション型開発があります。

IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

1 2

## DevOps の導入には、問題への投資以外にさまざまな取り組みが必要

アンケート回答者は、DevOps 手法を完全に導入するにはさまざまな取り組みが必要になると考えています。ほぼ 40% が最初のステップとして、障害は何かを把握し、次に、その障害を取り除く計画を策定することを挙げています。40% 近くは、プロセスと手法を合理化および自動化する必要があると考えています。31% は、組織のサイロ化を解消して、コラボレーションを改善する必要があると感じています。ツールとテクノロジーは重要ですが、働き方や組織の編成方法、人事評価の方法を変えることも不可欠です。

文化によって企業は形成されます。新しい手法に移行するには、DevOps による変革の一環として、コラボレーションを促進し、サイロ化を解消する必要があります。

貴社が DevOps に移行するには、どのような取り組みが必要ですか。

50%

増資

39%

プロセスと手法の合理化と自動化

39%

移行の障害の特定と、障害を解消するための計画立案

31%

組織のサイロ化の解消によるコラボレーションの促進

調査対象：米国と英国の、アプリケーション・デリバリーについての意思決定権を持つ責任者 36 人  
資料：IBM からの委託により Forrester Consulting が実施した調査 (2015 年 9 月)



IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

## DevOps は競争力を生み出す

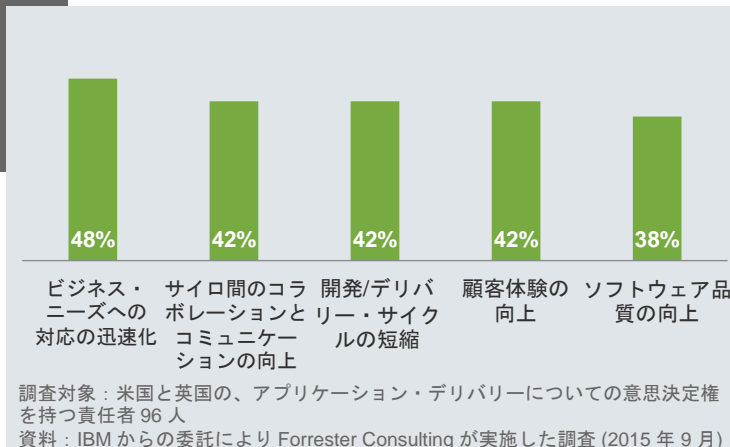
DevOps を導入すると、顧客のフィードバックをすばやく収集し、新しいまたは改善されたアプリケーション機能を提供できます。その結果は顧客満足度として表れ、顧客の獲得、サービスや製品の提供、関係維持により影響がもたらされます。

- 迅速な対応により問題を速やかに解決することで、品質が向上します。
- 規模を小さくして、より頻繁にリリースする方が、シンプルで簡単に展開できます。
- 顧客のフィードバックへの対応が早いと、顧客の満足度は向上します。
- DevOps の導入は組織内にもメリットをもたらします。アプリケーション開発の専門家の 42% は、サイロ間のコラボレーションとコミュニケーションが改善されたとしています。

DevOps 導入のメリットとして、ビジネス・ニーズへの対応時間の短縮を挙げたのは回答者の半数近く、顧客経験の向上を挙げたのは 42% です。



継続的デリバリーや DevOps を導入した結果、もたらされた/もたらされると予想されるメリットは何ですか。



IBM の委託により独自に実施した Technology Adoption Profile

## DevOps によるエンタープライズ・ソフトウェア・デリバリーの変革

概要

現状

アプローチ

チャンス

まとめ

### おわりに

顧客を獲得し、サービスや製品を提供し、関係を維持するには、ソフトウェアのデリバリー速度を上げる必要があります。多くの組織が、DevOps は期待を上回る顧客体験を提供するために、ビジネスの態勢を強化する手段になると考えています。メインフレーム・アプリケーションは、顧客とのかかわりを促進する情報源として活用されています。そのため企業は、速やかにメインフレーム・アプリケーションを調整して、顧客が利用するクラウドおよびモバイル・アプリケーションをサポートする必要があります。DevOps 手法なら、最高レベルの品質で、メインフレーム・アプリケーションを短いリリース・サイクルで提供できます。従来のシステムを最新化する際に、DevOps による文化、組織、プロセスの変更を行うことで、大きなビジネス価値がもたらされます。

### 調査方法

- この Technology Adoption Profile は、IBM からの委託によって実施されました。
- このプロファイルを作成するために、Forrester は、メインフレーム・アプリケーションと DevOps に関する既存の調査を利用しました。さらにこのデータを補足するため、米国および英国の、アプリケーション・デリバリー担当の意思決定者を対象とした独自の調査を行いました。
- さらに、独自の補足調査が 2015 年 9 月に開始され、完了しました。Forrester のデータパネルおよび Tech Industry Consulting サービスについては、forrester.com をご覧ください。



DevOps 手法を導入することで、組織は顧客の期待を満たすアプリケーション・デリバリーを実現できます。

### Forrester Consulting について

Forrester Consulting は、企業からの委託により第三者機関として客観的な調査を行い、これに基づくコンサルティングを提供することで事業の成功を支援しています。短い戦略セッションからお客様のご要望に基づいた個別プロジェクトまで、専門知識と経験が豊富な Forrester Consulting のリサーチアナリストが直接お客様に対応し、お客様の事業に関わる課題について専門的な知見を提供いたします。詳細については、forrester.com/consulting をご覧ください。

© 2015, Forrester Research, Inc. All rights reserved. 無断複製厳禁。本報告書は、調査時に入手可能な最も信頼できる情報に基づいて作成されました。本報告書の提案内容は調査時の判断を反映したものであり、変更されることがあります。Forrester®、Technographics®, Forrester Wave、RoleView、TechRadar、および Total Economic Impact は Forrester Research, Inc. の商標です。その他すべての商標は、それぞれ該当する会社が所有権を有しています。詳細については forrester.com をご覧ください。1-V5IT3N